

歴史学研究センター 2006年度公開講座

2006年10月7日(土)



歴史学研究センター客員研究員/
一橋大学社会科学古典資料センター教授

山崎 耕一 氏

Koichi Yamazaki



歴史学研究センター客員研究員/
ジョドプル大学助教授

リラ・ムカジー 氏

Rila Mukherjee

フランス革命とヨーロッパ

専修大学神田校舎7号館 731教室

第4回
2006公開講座
フランス革命とヨーロッパ
2006年10月7日(土)
13:00~16:40(受付12:30~) 会場 専修大学神田校舎 7号館731教室

■プログラム
13:00【開場】/13:05【開講】
13:10~14:10
【講師1】「サン＝ジュストとフランス革命」
山崎 耕一 (歴史学研究センター客員研究員/一橋大学社会科学古典資料センター教授)
14:15~15:15
【講師2】「ヨーロッパにおけるフランス革命の展開」
リラ・ムカジー (歴史学研究センター客員研究員/ジョドプル大学助教授)
15:15~16:40【閉会挨拶】

聴講無料

申し込み方法: 問い合わせ先
お問い合わせ: 電話 03-5261-1100 (受付時間) 03-5261-1101
Eメール: 03-5261-1102
FAX: 03-5261-1103
〒102-8580 東京都千代田区神田1-3-1 専修大学
TEL: 03-5261-1100
FAX: 03-5261-1103

今年度の公開講座は、「フランス革命とヨーロッパ」と題して、歴史学研究センター客員研究員である山崎耕一氏とリラ・ムカジー氏にそれぞれ「サン＝ジュストとフランス革命」、「ヨーロッパ史におけるフラン

70代の方が中心でしたが、20代の方も多くご参加くださいました。公開講座の内容については、多くの方が「とても興味深かった」、あるいは「興味深かった」とお答えになりました。ここから、今回の講演内容も多くの方々の興味を惹くものであったと推察されます。

(センター任期制助手 横藤田 稔泰)

ス革命の諸条件」というタイトルで御報告して頂きました。山崎氏はサン＝ジュストという一人の人物に焦点を当て、彼の思想と啓蒙思想の関わりを論じたのに対して、ムカジー氏は、フランス革命をヨーロッパという広い視野の中で位置づけ、フランス革命の意義や特徴を明らかにしました。各報告の詳しい内容については、3ページと4ページに掲載した当センター前代表の西川正雄氏のコメントや山岸拓郎氏の参加記をご参照下さい。

今回もお越し頂いた方々にアンケート調査を実施し、参加者120名の内、78名の方がアンケートに御協力下さいました。例年通り、参加者の大多数は、当センターやエクステンションセンターからのお知らせを御覧になって足を運んで下さいました。参加者の年齢層は50代から

